

# 総合型選抜と 高校の対応

高大接続改革による入学者選抜改革は、  
共通テストの英語4技能、記述式導入ができなかったことで、  
当初の狙いどおりに進んでいないという評価が散見される。  
そんななか、かつては課題も多く指摘されていたAO入試が、  
総合型選抜となり、学力の3要素を見ることになったこと、  
国立大学の一部が力を入れ始めていることから、  
少しずつイメージが変わりつつあるようだ。  
これまで東海や関西ではAO入試の併願は進んでいたが、  
関東でも総合型選抜の併願が増えていくことも予測される。

一方、高校側は、多様な大学が多様な入試を行うことに戸惑いはないのだろうか。  
また総合型選抜による進学に向けて、どのような進路指導を実施しているのだろうか。

本特集では、  
総合型選抜の主旨や目的について、改めて考え直すとともに、  
新たな入試制度を見据えた進路指導に取り組む高校側に取材し、  
総合型選抜に対し、どのような対応をしているのか、  
どのような評価や課題を持っているか、  
大学に対して、今後どのようなことを期待しているのか、  
そのリアルな現状を伝えたい。

## CONTENTS

### 【視点提供インタビュー】

#### 総合型選抜の本質とは何か

九州大学 / 大学入試センター 教授・大学アドミッション専門職協会 (JACUAP) 理事長  
木村拓也 氏

### 【事例】

#### 高校の総合型選抜に向けた取り組み

島根県立吉賀高等学校

三田国際学園中学校・高等学校

兵庫県立神戸商業高等学校